

2023年10月4日  
SCSK株式会社

## 薬局の店舗業務を改善できる分析機能をナレコレ BI に搭載 ～調剤薬局向け ナレコレ BI のサービス提供を開始～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、調剤薬局が保有するデータを活用し、チェーン薬局全体の業務効率化や薬局の店舗業務を改善できる分析機能をナレコレ BI に搭載し、2023年9月1日よりサービス提供を開始いたしました。

コンビニエンスストアや家電量販店など異業種からの参入、また業界再編の動きがさらに加速している薬局業界では、経営の舵取りにおいて店舗の状況把握、チェーン全体の情報可視化、さらには売上や利益率の改善につながる業務改善や効率化が必須となっています。ナレコレ BI を活用したデータ分析によって調剤薬局の経営課題や店舗管理業務の課題を発見し、課題解決に向けた施策の立案やビジネスの意思決定、さらにはデータ活用の定着化を支援いたします。

### 1. ナレコレ BI の活用イメージ

BI を活用することで、業務が見える化し、データに基づいた客観的な意思決定が可能となります。また、意思決定の質が向上し、ビジネス全体への大きな貢献をもたらします。高い効果を実感することで、組織内での BI 利用がさらに定着、再び業務の見える化を推進する好循環のサイクルを生むようになります。

「ナレコレ BI」は、BI の活用方法がわからない、BI の利用が浸透しないという課題を抱えたお客様においても、このような好循環を作り出し、組織の継続的な成長と進化を促進することが可能です。



### 2. 調剤薬局向け機能の特長

#### (1) 経営分析

店舗ごとや店舗分類ごとに売上状況や処方箋枚数、受付回数、調剤売上、技術料売上、薬剤料売上などの営業指標を日次管理し、また前年比較分析により課題発見とともに施策立案につなげることが可能です。

## (2) 薬剤師の労働生産性分析

店舗ごとに薬剤師や事務職員の労働生産性として、例えば一人当たりの売上高や技術料や薬剤料などの内訳が確認できます。店舗の規模が違えば単純比較できませんが、総労働時間に対する売上を算出し、人時生産性として比較が可能です。

## (3) 地域支援体制加算の進捗状況把握

店舗ごとに地域支援体制加算の実績、必要数、不足数、進捗率を可視化します。また、後発医薬品調剤体制加算についても進捗状況の把握が可能です。

なお、OTC 販売※の分析については、小売業向けの現行機能としてご提供しており、本機能との併用も可能です。

※Over The Counter(オーバー・ザ・カウンター)。対面販売で薬を買うこと。

## 3. 今後の展望

調剤向け分析機能のさらなる強化として、処方時間分析、仕入分析、在庫分析、廃棄分析、薬剤師個々の分析、薬剤別分析などの機能追加を予定しています。

## ナレコレ BI について

「ナレコレ BI」はさまざまな種類の「データ」から具体的な「アクション」へと繋げることができる「ナレッジを BI に搭載」したソリューションです。「BI 活用業務フロー」「BI 設計(データモデル)」「BI 画面標準」の 3 点セットを用いて、ビジネスに貢献できるナレッジをご提供します。

<https://www.scsk.jp/sp/narekorebi/>

## 本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

産業事業グループ

流通システム事業本部 流通システム第一部

E-mail: [mnarekorebi-sales@scsk.jp](mailto:mnarekorebi-sales@scsk.jp)

<https://www.scsk.jp/sp/narekorebi/>

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。